

平成17年度 水道事業会計事業報告

毎年良質で低廉な水道水の安定供給を図りながら勝山市水道事業の健全な財政基盤の確立に努めています。本年度は損失を計上する結果となりました。収入の主である水道料金収入においては、平成18年豪雪の影響で対前年比2・87%の増収となりました。一方支出においては、事務諸経費等の削減に努めてきましたが、建設改良費や施設の修繕費、企業債の元金償還が増加し、経営は厳しい状況が続いています。

拡張事業

本年度は水道水源開発施設整備事業および勝山・丸岡線北市地係において、配水管布設工事等を行いました。この事業にかかる事業費は1億55万3千円となり、うち水道水源開発施設整備事業浄土寺川ダム負担金は8185万6千円となりました。

改良事業

改良事業費は4673万4千円で、そのうち主なものとして立川水源地区ポンプ場改良工事、消火栓新設工事（下高島地係等）を行いました。

給水事業

本年度の総配水量は299万7千㎡（前年度比2・47%増）、1日最大配水量は平成17年12月13日に記録された1万2914㎡（前年度比8・28%減）、年間有効水量は257万3千㎡（前年度比2・24%増）の実績となりました。有効水量増加の要因は平成18年豪雪の影響によるものと考えられます。

財政状況

本年度の総事業収益は3億5162万9千円となりました。主な内訳として、営業収益では水道料金が3億2159万8千円、落雷による建物損害共済災害共済金などが2168万4千円となっています。また、総事業費用は3億5874万2千円となりました。この結果、当年度は純損失711万3千円を計上する結果となり、その補填に利益積立金を充てました。

また、資本的収入は2億119万円、資本的支出については建設改良費1億4890万4千円（繰越分含）、企業債償還金等で1億2577万5千円となり、支出合計額は2億7467万9千円となりました。この結果、不足額

7348万8千円は、過年度分損益勘定留保資金3069万円、当年度分損益勘定留保資金4279万8千円で補填しました。

なお、浄土寺川ダム負担金の事業費のうち浄土寺川ダム事業の繰越に伴う51万2千円、若猪野水源調査業務委託1344万円、第7次拡張事業基本計画および事業変更許可設計業務1697万4千円については、予算の繰越を行いました。

詳細については、決算書を勝山市立図書館に備えてありますのでご覧ください。

問 上下水道課（☎内線322）

上水道業務状況

項目	業務量	前年度比
給水人口	21,937人	-0.29%
給水戸数	6,471戸	+0.62%
年間総配水量	2,996,590㎡	+2.47%
年間有効水量	2,573,484㎡	+2.24%
有効率	85.88%	-0.22%
導送配水管延長	261,998.5m	+0.16%

「市長となんでも語ろう会」を開催

やわらかい雰囲気です市民と語り合いの山岸市長の意向により、「市民対話集会」を「市長となんでも語ろう会」と改め、8月30日に福祉健康センター「すこやか」で開催致しました。会場の座席を市長を囲むように半円形状にし、司会進行を女性が担当するなどして、気軽な雰囲気の中で、活発な意見が出されました。

集会での主な意見、要望などについては、次の通りです。

団塊の世代対策の取り組み強化を

市長「現在、プロジェクトチームを立ち上げて取り組んでいる。人材バンクの登録、人脈や技術と能力を活かしてがんばれる人生の第2ステージを提供したい。ホームページ等の情報発信の方法についても、ネットワークを活かし努力したい。」

国道416号の進捗状況は？

市長「小松市と期成同盟会を結成し交互に総会を開催。県境付近の未開通区間はトンネルから1・5車線道路計画に変更した。」



問 未来創造課（☎内線232）

今年の「勝ち山夏物語」を、夏の思い出出に綴ります

「勝ち山夏物語」は、市内各地で開催される夏のイベントの企画や運営、参加者、観客など、多くのかたがたが、その物語の主人公であって欲しいとの願いから命名されました。今年7月30日に始まり、8月16日までの間、多くのかたがたの物語を創り幕を閉じました。

大師山たいまつ登山

8月13日(日) 会場・大師山
お盆の迎え火となる大師山たいまつ登山の第1回は、福井国体の一年前に、同国体の勝山での山岳競技開催を盛り上げようと始められました。今回は、約160名の参加者が、たいまつを片手に、頂上目指してがんばりました。大師山の頂上では、眼下に勝山市街のきれいな夜景が一望できました。大野の花火大会の打ち上げ花火も遠目に見ることができました。



かちやまワッショイ2006

8月14日(月) 会場・元祿線通り、弁天緑地公園

左義長ばやしの一番太鼓で幕が開け、勝山南高校のバトントワリングで花を添えたオープニング。5年目を迎えた今年は天候に恵まれ、約8,000人の観客は、15チーム644名が真夏の日差しの中で汗を流し、笑顔浮かべながらも懸命に踊る姿を見て、声援と惜しめない拍手を送っていました。

かちやまワッショイの写真提供

8月24日発行の「広報かつやま・かちやまワッショイ特集号」に掲載した写真やビデオをご希望のかたに実費でお分けいたします。

申・問 商工観光課（☎内線274）

納涼花火大会2006

8月14日(月) 会場・弁天緑地公園

かちやまワッショイのステージも終わり、表彰式を残すのみとなった弁天緑地公園で、勝山商工会議所創立55周年を記念した納涼花火大会が行われました。約1000発の花火が打ち上げられ、夏の夜空を華やかに彩りました。



かち山ちようちん登山

8月16日(水) 会場・村岡山

出発の会場となる村岡小学校グラウンドでは、約180名の参加者が、地元防犯隊の皆さんの不審者撃退を呼びかける寸劇や勝山中部中学校吹奏楽部の皆さんの演奏で気分を盛り上げました。提灯の灯りの行列が、とてもきれいでした。頂上では、勝山の夜景を眺め、フルートとエレクトーンの演奏を聴いて疲れを癒しました。



谷はやし込みまつり

8月15日(火) 会場・伊良神社(北谷町谷)



昨年とは打って変わった晴天に恵まれ、お盆の帰省客や市内外からの来訪者が沿道を取り囲む中を、「庭はき」を先頭とした行列が、勇ましくかつ厳かに、伊良神社までゆっくりと練り歩きました。